

支援実績例

- 会員のニーズをとらえた活動の在り方の検討(タンタタウン自治会・大丸自治会)
- 自治会で運用中のホームページの更新に関する技術的アドバイス(荏田南四丁目自治会)
- 多世代・子どもの交流の場づくり(荏田東二丁目自治会・都筑ヶ丘住宅自治会)
- ホームページとSNS(LINE・Facebook)などを組み合わせたタイムリーな情報発信(メゾンふじのき台自治会・富士見が丘自治会・港北センタープレイス自治会)



荏田東二丁目自治会での様子



港北センタープレイス自治会での様子

利用した自治会の声

▶ ホームページやSNSの活用事例を知って、広報のツールが増えるきっかけに



富士見が丘自治会 神原 正明 会長

試作ホームページの公開後には、月1,500件のアクセスを記録。
自治会活動を知ってもらえる広報ツールが増えたと感じています！

きっかけ

自治会員への広報は、チラシの配布や回覧、掲示板を中心に行ってきましたが、「もっと地域の方にイベントや活動の様子・魅力をPRしたい、タイムリーに情報を発信したい」と考えていました。

ただ、ホームページ(以下、HP)やSNSを使うなら、

どんな種類とメリット・デメリットがあるのか、どのようにすれば継続的な運用ができるのか等を検討する必要がありました。

この募集案内を見て問い合わせたところ、「自治会の希望に合わせて、専門家が事例紹介したり、一緒に考えたりします。気軽に御利用ください」ということで、まずは活用事例を知ろうと思いを申し込みました。



自治会のホームページ

アドバイスを受けてみて

自治会役員や関係団体のメンバーを中心に、ICT導入プロジェクトを発足。自治会館に集まり、3回のアドバイスを受けました。

HPを作るのか、FacebookやLINEを使うのか等、アドバイザーから提供された様々な事例や機能に関する資料や説明をもとにメンバーで比較検討・協議し、オリジナルのHPを作ることになりました。検討を進める中で出てきた疑問や課題に、アドバイザーから臨機応変に助言してもらえたことが、とても役に立ちました。

また、自治会のHP作成に興味がある人が中心となって他の町内会へヒアリングに

行くなど、運用に向けた積極的な検討により、初回アドバイスから3か月後には、HPテスト稼働として公開を始めました。

「公園愛護会」「子ども会」「ふじみ会」など関係団体と連携して、活動が身近に感じられる情報発信をしていきたいです。



アドバイザーとの話し合い

アドバイザーから

自治会の皆様が望む完成形に向けて、一番良い選択ができるような事例紹介や、自治会の体制に合ったルール作りを提案しました。

「誰もが、簡単に、楽しく、持続的に」を心掛けてアドバイスさせていただき、試作HPが完成して、とても嬉しく思います。